



▲ 2007年元旦の富士山

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

今年は国の宇宙利用の方針が漸く改定され、宇宙が国の安全保障の分野に積極的に活用されるようになる重要な年とされております。衛星通信が益々この分野で、国と国民の皆様のお役に立てるよう、本誌も微力ながら努力を続けてまいりたいと思ひます。読者の皆様方のご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。 (植田 剛夫)

新年明けましておめでとうございます。日頃 SJR のご愛読ありがとうございます。昨年は隣国での核実験、ミサイル連続発射で宇宙を巻き込んだ防衛問題と安全・安心が議論されました、又日本では安倍新政権の発足、米国中間選挙での民主党躍進で世界的に政策変更の兆しが感ぜられました。一方日本経済は立ち直りの傾向が継続され株式市場がそれにいち早く反応しております。

宇宙開発の分野でも ETS-8 の打ち上げ成功で新たな衛星通信実験の試みの可能性と WINDS への期待が広がり、H-IIA ロケットの打ち上げ成功率も漸く世界レベルに仲間入り出来たようです。JAXA の開発は安全・安心への貢献から観測分野に重点

が置かれるように見えますが、観測衛星には当然ながらその取得データの伝送と複雑な衛星観測上から、衛星通信技術の貢献が多いに必要であることは言を待ちません、その観点からも新たな高度衛星通信技術の開発の必要性が高まっていると感じています。今年も SJR の活動にご期待ください。

(北爪 進:SJR 編集特別顧問)

昨年末に待ちに待った実験用通信衛星の ETS-VIII の打ち上げが成功しました。衛星を使った実験を進める中から新たな衛星通信の利用方法が見出されることに期待したいと思います。こうした研究分野での進展や宇宙基本法の制定等衛星ビジネスの世界が変わる予感が今年の初めに感じています。本誌を通じて何か新しい時代の姿貌に関する情報提供ができたらと思います。本年もよろしく願いいたします。

(若菜 弘充)

本年もよろしくお願い申し上げます。

今年は「スペース・ジャパン・レビュー」誌の記事を充実したものにしていきたいと思えます。本業界の動きなどが分かりやすい形で記事にできればと思います。読者諸氏のご協力をお願いいたします。本年も皆様にとりよい年でありますように祈っております。

(志垣 雅文)